

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年9月17日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 その他 : 9 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	低圧炉心スプレイ系計装配管の過流量阻止弁の動作試験時、同弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検補修。	G	
2	1号機	残留熱除去機器冷却系(B)調圧タンクにおいて、液位低下が認められ、調査したところ、同系配管ベント弁(2弁)の開が確認されたため、当該弁を閉。	G	
3	1号機	高電導度廃液系受ポンプ(B,D)吐出配管流量検出器洗浄水元弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検補修。	G	
4	1号機	炉心性能計算機入力定数確認時、帳票(同位体組成リスト)用の燃料体番号書式に一部(21回取替燃料分)誤りが認められたため、当該書式を訂正。	G	
5	3号機	工具管理センターのシリンダーゲージの校正時、基準値外れ(1台)が認められたため、使用実績に関する影響評価と共に当該シリンダーゲージを修理。	G	
6	4号機	原子炉格納容器調気系サブプレッションプール水記録計点検時、部品(サーボモータ)に異音が認められたため、当該部品を交換。	G	
7	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)渦流フィルタ旋回弁の操作スイッチにおいて、動作不良(動きが固い)が認められたため、当該スイッチを点検修理。	G	
8	3.4号廃棄物処理設備	固化系固化材受入ポンプ用電動機点検時、負荷側及び反負荷側の軸受ケースに摩耗(管理値外れ)が認められたため、当該軸受ケースを交換。	G	
9	3.4号廃棄物処理設備	廃棄物処理設備の点検長期計画表において、記載漏れ(4号機高電導度廃液受ポンプ吐出逆止弁(C,D)の平成27年度点検計画)が認められたため、当該計画表を修正。	G	